

実務経歴証明書記入例（建築士事務所以外の法人の場合）

様式第1号の2（第3条および第17条関係）

実務経歴証明書

証明書の作成日を和暦で記入

令和〇〇年 〇〇月 〇〇日

福井県指定登録機関

一般社団法人 福井県建築士会会長 様

・建築士事務所以外の法人の場合

- 法人の代表者、または代表権を持つ役員（代表取締役、理事長等）
- 行政・独立行政法人の場合
実務を行った部署の所属長
- 教育・研究機関の場合
申請者が所属する教育・研究機関の学長（校長）、または学部長・研究科長

証明者

株式会社〇〇

代表取締役社長

登録 太郎

住所・所在地

〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地

電話番号

〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

担当者

（所属・電話番号も記入）

株式会社〇〇 〇〇部〇〇課

免許 一郎

TEL 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

実務を把握している上司を記入

免許申請者(受験申込者)との関係

申請者が所属する法人の代表者

下記の者が申請した二級(木造)建築士免許申請書(受験申込書)に添付された実務経歴書は、事実と相違しないことを証明します。

記

1. 免許申請者(受験申込者)氏名 建築 太郎

2. 建築実務経歴

建築実務経歴期間の合計 : 2 年 4 月

建築実務の内容 : (1) 医院（鉄筋コンクリート造〇階建て、延べ床面積〇〇㎡）の新築工事における建築一式工事の施工管理のうち、鉄筋工事を担当した。
(2) 集合住宅（鉄骨造〇階建て、延べ床面積〇〇㎡）の新築工事における建築一式工事の施工管理のうち、鉄筋工事とコンクリート工事を担当した。

実務経歴書に記載の実務を記入。

- (3)
- (4)
- (5)
- (6)
- (7)
- (8)

備考

- この実務経歴証明書は、実務経歴書ごとに作成してください。
- 使用者その他これに準ずるものが実務経歴書の内容が事実と相違しないことを確認したことを証明してください。
- 虚偽の証明を行った場合、証明者は建築士法上の処分や告発の対象となり得ます。